

地域計画

策定年月日	令和7年〇月〇日
更新年月日	令和〇年〇月〇日 (第〇回)
目標年度	令和11年度
市町村名 (市町村コード)	小野町 7522
地域名 (地域内農業集落名)	浮金地区 (浮金)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	259.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	174 ha
② 田の面積	108.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	151 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	35.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	33.84 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地区内全体で、後継ぎがいない者及び後継ぎが不明のものが7割おり、今後の農業経営について、規模縮小や離農を考えているものが6割存在している状況にある。また当地区の規模縮小などの意向面積は35.4haとなっており、今後農業者の高齢化や減少等による耕作放棄地の増加が懸念されることから、当該地区内の持続的な農業の発展を図るために地区内農地の集積・集約化による作業効率の上昇や新規就農者の参入を推進していく必要がある。また西之内、中ノ内地区では農業施設の老朽化が目立つため、補助事業を活用した地域内耕地基盤の改善を

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地区の主要作物である水稻及び野菜、飼料用作物については、地区の担い手への農地集積・集約化を進めることで農作業の効率化を図り、大型機械を活用することで牧草や青とうもろこしのさらなる栽培面積の拡大に取り組んでいく。またスマート農業にも取り組み、農地の維持活用を目指す。現在新規就農者によるピーマン栽培が始まっており、これを一例として新規就農者を積極的に応援し受け入れていく。また多面的維持機能事業主体である「うきがねの里保全会」を軸に集落営農の法人化を目標とし、地域内の若い世代との交流及び意見交換を進めていく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地バンクへの貸付を進めるとともに、地区の担い手への農地集積・集約化を無理のない範囲で推進し、地区の効率的な農地利用を行っていく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	28.5	%	将来の目標とする集積率
			40.1 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
今後地区の担い手への農地集積・集約について無理のない範囲で推進し、団地面積のさらなる拡大を図っていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
地区の担い手を中心として農地の集積・集約化を推進するとともに、団地面積の拡大について農業委員及び農地利用最適化推進委員と調整し、農地バンクを通じて推進していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地区全体の農地を農地バンクを通じて貸し付けていき、担い手の経営意向を踏まえて無理のない範囲で、段階的に農地集積・集約化を図っていく。その際は、農業委員及び農地利用最適化推進委員と調整を行うことで、農地所有者の貸付意向時期についても配慮していく。
(3)基盤整備事業への取組
今後浮金第一地区についても基盤整備事業についてどのように取り組んでいくか、地区の担い手や農業委員及び農地利用最適化推進委員と検討していく予定。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
農業普及所、市町村及び農業協同組合との連携を図り、地域内外で開催される新規就農相談会等へ積極的に参加することで、新たな担い手の創出・育成の達成に尽力するとともに、農作物の栽培技術の周知、農地のあっせん等を定期的に行っていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内における農作業効率を向上させるため、水稻や野菜の病害虫防除作業等は農業協同組合に委託するほか、水田の畦畔等の草刈り作業等についてはシルバー人材センター等への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④輸出	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
①イノシシ等獣害の発生がこれ以上増加しないよう電気柵の設置を推進していくとともに、目撃情報や被害状況等について地域内での情報共有を行えるような体制を構築していく。				
③農作業効率の上昇を図るためスマート農業の導入について検討する。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	1経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3: 提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 11 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 A	水稲+乳用牛+肉用牛(繁殖)	9.7 ha	0 ha	水稲+乳用牛+肉用牛(繁殖)	13.7 ha	0 ha	A	
2	認農 B	水稲+乳用牛+肉用牛(繁殖)	2.7 ha	0 ha	水稲+乳用牛+肉用牛(繁殖)	3.1 ha	0 ha	B	
3	認農 C	水稲+粟たばこ+肉用牛(繁殖)	4.6 ha	0 ha	水稲+粟たばこ+肉用牛(繁殖)	1.0 ha	0 ha	C	
4	認農 D	酪農(乳用牛)	2.1 ha	0 ha	酪農(乳用牛)	6.1 ha	0 ha	D	
5	認農 E	水稲	1.1 ha	0 ha	水稲	9.6 ha	0 ha	E	
6	認農 F	水稲	0.0 ha	0 ha	水稲	9.5 ha	0 ha	F	
7	認農 G	水稲	0.0 ha	0 ha	水稲	7.4 ha	0 ha	G	
8	認農 H	水稲+乳用牛	3.2 ha	0 ha	水稲+乳用牛	3.2 ha	0 ha	H	
9	認農 I	水稲+飼料用作物+粟タ/コ+肉用牛(繁殖)	3.8 ha	0 ha	水稲+飼料用作物+粟タ/コ+肉用牛(繁殖)	3.8 ha	0 ha	I	
10	認農 J	水稲+野菜	3.1 ha	0 ha	水稲+野菜	3.1 ha	0 ha	J	
11	認農 K	飼料用作物	11.3 ha	0 ha	飼料用作物	11.3 ha	0 ha	K	
12	認農 L	水稲	0.6 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	L	
13	利用者 M	水稲+野菜	2.5 ha	0 ha	水稲+野菜	2.5 ha	0 ha	M	
14	利用者 N	水稲+野菜	2.0 ha	0 ha	水稲+野菜	2.0 ha	0 ha	N	
15	利用者 O	水稲+野菜	1.7 ha	0 ha	水稲+野菜	1.7 ha	0 ha	O	
16	利用者 P	水稲	1.6 ha	0 ha	水稲	1.6 ha	0 ha	P	
17	利用者 Q	飼料用作物	1.5 ha	0 ha	飼料用作物	1.5 ha	0 ha	Q	
18	利用者 R	水稲+飼料用作物	1.4 ha	0 ha	水稲+飼料用作物	1.4 ha	0 ha	R	
19	利用者 S	野菜	1.4 ha	0 ha	野菜	1.4 ha	0 ha	利用者	
20	利用者 T	水稲	1.1 ha	0 ha	水稲	1.1 ha	0 ha	利用者	
21	利用者 U	水稲+肉用牛(繁殖)	1.0 ha	0 ha	水稲+肉用牛(繁殖)	1.0 ha	0 ha	利用者	
22	利用者 V	野菜+飼料用作物	1.0 ha	0 ha	野菜+飼料用作物	1.0 ha	0 ha	利用者	
23	利用者 W	水稲	1.0 ha	0 ha	水稲	1.0 ha	0 ha	利用者	
24	利用者 X	水稲+乳用牛	1.0 ha	0 ha	水稲+乳用牛	1.0 ha	0 ha	利用者	
25	利用者 Y	水稲+肉用牛(繁殖)	0.9 ha	0 ha	水稲+肉用牛(繁殖)	0.9 ha	0 ha	利用者	
26	利用者 Z	水稲	0.8 ha	0 ha	水稲	0.8 ha	0 ha	利用者	
27	利用者 AA	水稲+乳用牛	0.8 ha	0 ha	水稲+乳用牛	0.8 ha	0 ha	利用者	
28	利用者 AB	水稲	0.7 ha	0 ha	水稲	0.7 ha	0 ha	利用者	
29	利用者 AC	野菜	0.6 ha	0 ha	野菜	0.6 ha	0 ha	利用者	
30	利用者 AD	水稲	0.6 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	利用者	
31	利用者 AE	水稲	0.6 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	利用者	
32	利用者 AF	水稲	0.6 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	利用者	
33	利用者 AG	水稲	0.6 ha	0 ha	水稲	0.6 ha	0 ha	利用者	
34	利用者 AH	水稲+乳用牛	0.6 ha	0 ha	水稲+乳用牛	0.6 ha	0 ha	利用者	
35	利用者 AI	水稲+乳用牛	0.6 ha	0 ha	水稲+乳用牛	0.6 ha	0 ha	利用者	
36	利用者 AJ	野菜+水稲	0.5 ha	0 ha	野菜+水稲	0.5 ha	0 ha	利用者	
37	利用者 AK	水稲+肉用牛(肥育)	0.5 ha	0 ha	水稲+肉用牛(肥育)	0.5 ha	0 ha	利用者	
38	利用者 AL	水稲	0.5 ha	0 ha	水稲	0.5 ha	0 ha	利用者	
39	利用者 AM	水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.4 ha	0 ha	利用者	
40	利用者 AN	水稲+肉用牛(繁殖)	0.4 ha	0 ha	水稲+肉用牛(繁殖)	0.4 ha	0 ha	利用者	
41	利用者 AO	水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.4 ha	0 ha	利用者	
42	利用者 AP	水稲	0.4 ha	0 ha	水稲	0.4 ha	0 ha	利用者	
43	利用者 AQ	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
44	利用者 AR	野菜+肉用牛(繁殖)	0.3 ha	0 ha	野菜+肉用牛(繁殖)	0.3 ha	0 ha	利用者	
45	利用者 AS	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
46	利用者 AT	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
47	利用者 AU	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
48	利用者 AV	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
49	利用者 AW	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
50	利用者 AX	水稲	0.3 ha	0 ha	水稲	0.3 ha	0 ha	利用者	
51	利用者 AY	水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	利用者	
52	利用者 AZ	野菜	0.2 ha	0 ha	野菜	0.2 ha	0 ha	利用者	
53	利用者 BA	水稲+乳用牛+乳用牛(肥育)	0.2 ha	0 ha	水稲+乳用牛+乳用牛(肥育)	0.2 ha	0 ha	利用者	
54	利用者 BB	水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	利用者	
55	利用者 BC	水稲	0.2 ha	0 ha	水稲	0.2 ha	0 ha	利用者	
56	利用者 BD	野菜+飼料用作物+肉用牛(繁殖)	0.2 ha	0 ha	野菜+飼料用作物+肉用牛(繁殖)	0.2 ha	0 ha	利用者	
57	利用者 BE	水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者	
58	利用者 BF	水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者	
59	利用者 BG	水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者	
60	利用者 BH	水稲	0.1 ha	0 ha	水稲	0.1 ha	0 ha	利用者	
61	利用者 BI	肉用牛(繁殖)	- ha	0 ha	肉用牛(繁殖)	- ha	0 ha	利用者	
62	利用者 BJ	乳用牛	- ha	0 ha	乳用牛	- ha	0 ha	利用者	
63	利用者 BK	乳用牛	- ha	0 ha	乳用牛	- ha	0 ha	利用者	
64			ha	ha		ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

	番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				